

岡山県の地震

令和4年(2022年)2月

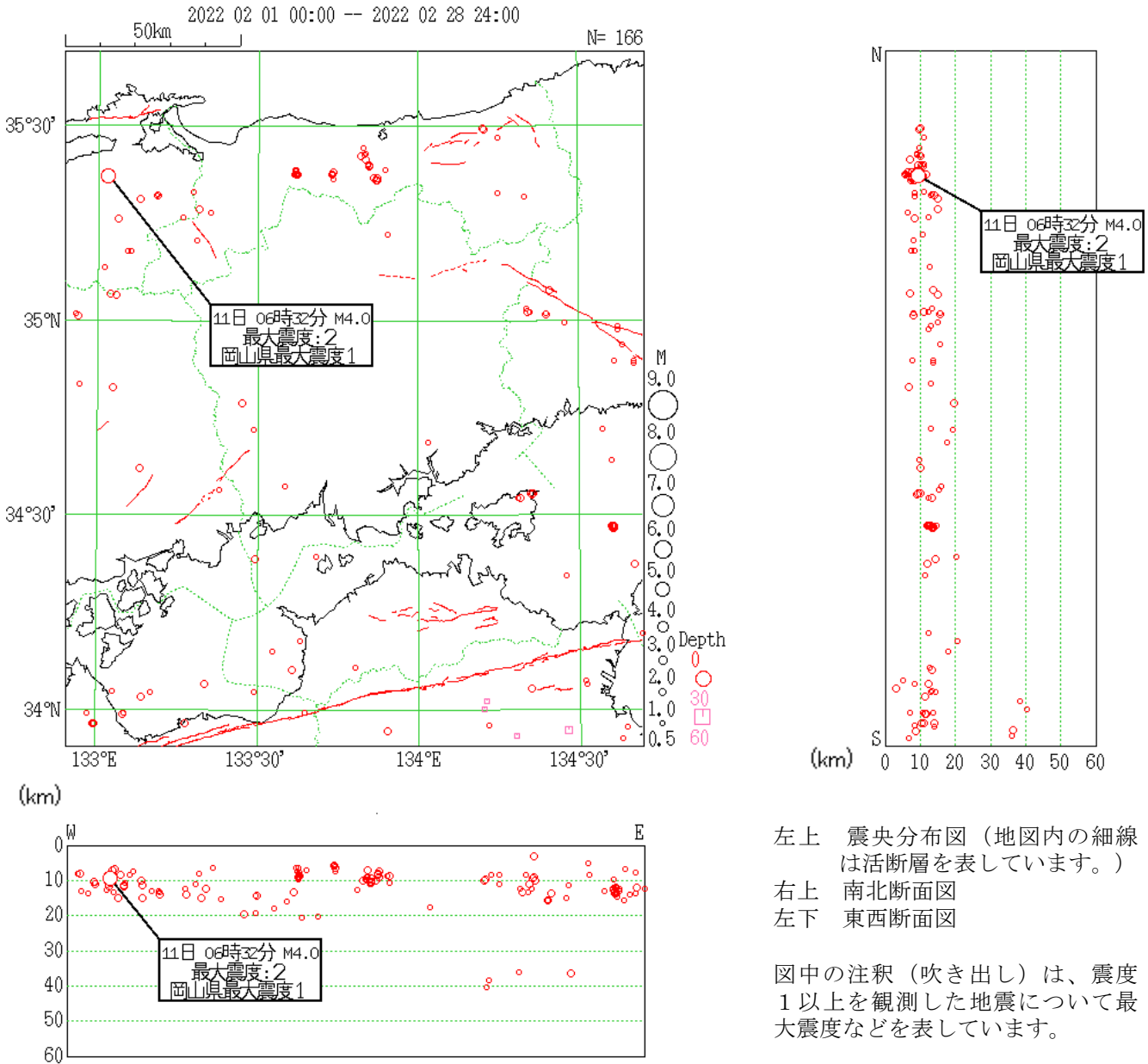
目 次

○岡山県及びその周辺の地震活動（2月）	
震央分布図及び断面図	… 1
概 況	… 1
岡山県において震度1以上を観測した地震の表	… 2
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図	… 2
○地震防災メモ No.194	
南海トラフ地震臨時情報が発表された時の対応について	… 3

- 「岡山県の地震」は、月1回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。
- この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山県及びその周辺の地震活動(2月)

震央分布図及び断面図



左上 震央分布図（地図内の細線は活断層を表しています。）

右上 南北断面図

左下 東西断面図

図中の注釈（吹き出し）は、震度1以上を観測した地震について最大震度などを表しています。

概況

2月の概況

- ・上図の範囲内で2月に震度1以上の揺れが観測された地震は1回（前月：3回）でした。
- ・岡山県で震度1以上の揺れが観測された地震は2月中に1回（前月：1回）あり、そのうち震央が上図の範囲内の地震は1回、範囲外の地震は0回でした。

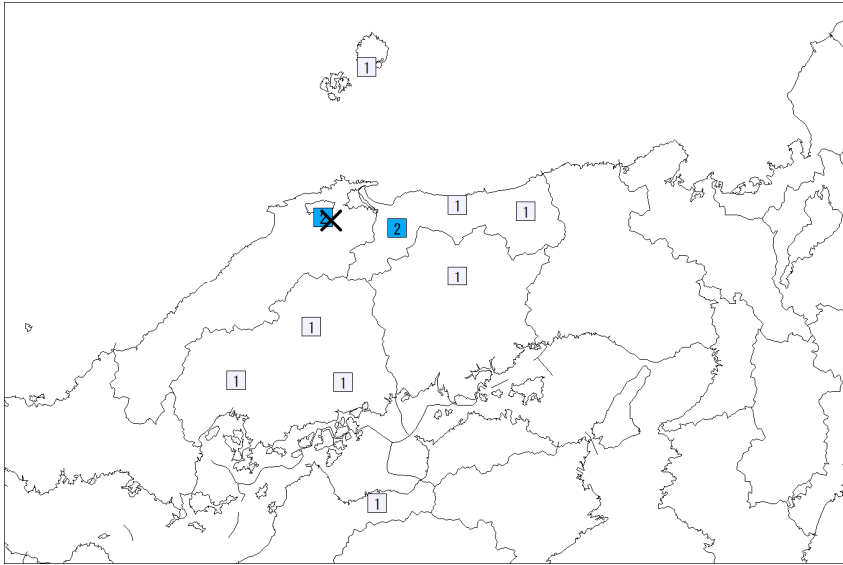
岡山県において震度1以上を観測した地震の表(2月)

2022年02月11日06時32分	島根県東部	35° 22.0' N 133° 01.9' E	9km M4.0
----- 地点震度 -----			
岡山県	震度 1: 真庭市禾津*		

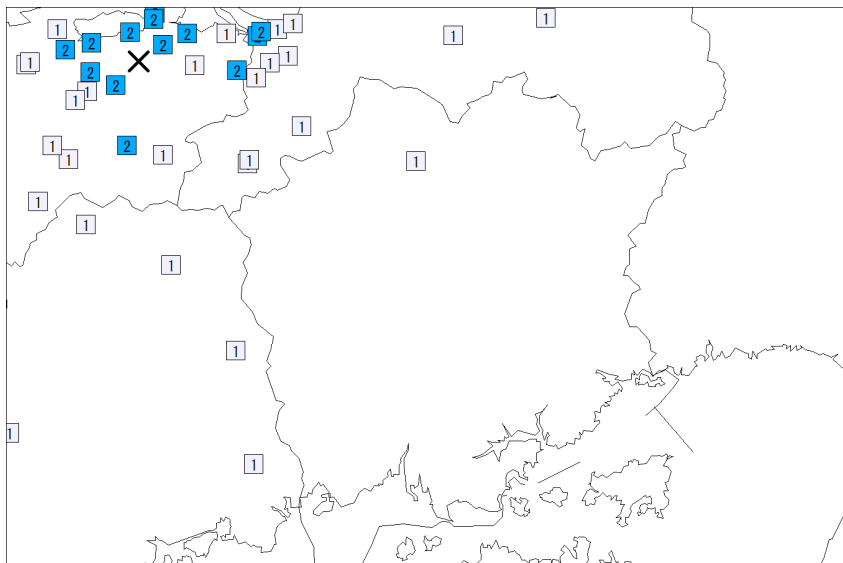
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図(2月)

2022年02月11日06時32分 島根県東部の地震

各地域の震度分布



岡山県及び周辺観測点の震度分布



×は震央	
凡例	
7	震度7
6+	震度6強
6-	震度6弱
5+	震度5強
5-	震度5弱
4	震度4
3	震度3
2	震度2
1	震度1

<地震の概要>

11日06時32分 島根県東部の地震(深さ9km、M4.0)により、鳥取県米子市・境港市、島根県松江市・出雲市・安来市・雲南市・奥出雲町で震度2を観測したほか、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、愛媛県で震度1を観測しました。

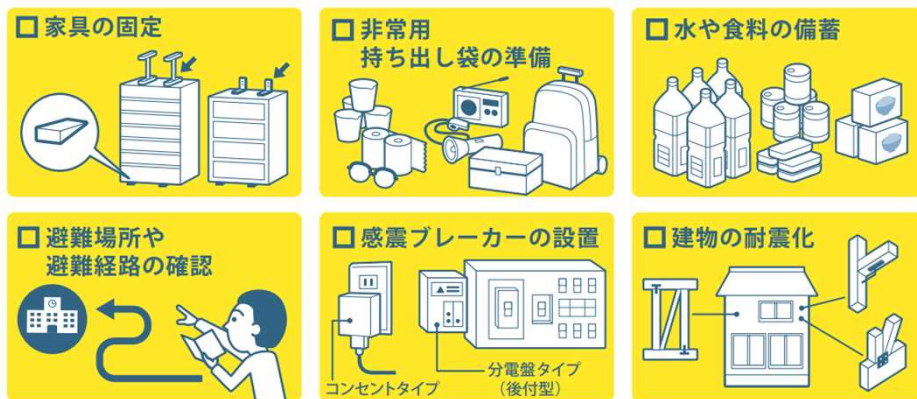
南海トラフ地震臨時情報が発表された時の対応について

南海トラフ地震については、地震防災メモNo.176(2020年8月)と177(同年9月)で説明させていただきました。今後30年以内に、南海トラフ沿いで、マグニチュード8～9クラスの地震が発生する確率は70%～80%と見積もられており、切迫性が高まっています。この地震により、岡山県でも南部を中心に広い範囲で震度5強以上の強い揺れが予測され、地震動により堤防等が破壊されて津波が浸水する場合は1m以上となる地域がかなりの範囲に広がるというハザードマップが公表されています。

この南海トラフ地震が発生する可能性が、通常と比べて相対的に高まったと評価された場合には、気象庁は、「巨大地震警戒」とか「巨大地震注意」というキーワードを付した「南海トラフ地震臨時情報」を発表します。

この情報が発表された場合は、日頃からの地震への備えを再確認するなど、政府や地方公共団体などからの呼びかけに応じた防災対応をとりましょう。具体的には、情報を見聞きした後に、家具の固定がしっかりできているか、水や食料の備蓄は十分か、避難場所はどこか、避難経路途中で危険な箇所はあるのか……などについて、今一度確認することになります。

地震の発生に備えよう



自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう

一方、南海トラフ沿いで異常な現象が発生せず、南海トラフ地震臨時情報の発表がないまま、突発的に大規模な地震が発生することがあります。上述のとおり、南海トラフ地震の切迫性は高い状態にあり、いつ地震が発生してもおかしくないことに留意が必要です。日頃からできる地震への備えを着実にしておくように心がけてください。

内閣府と気象庁では、南海トラフ地震や南海トラフ地震臨時情報発表の流れなどについてまとめたリーフレットを用意しています。参考にしてください。

